

ハリケーン対策特集

総領事館より安全情報発信

～ハリケーンに備えて～

テキサス州において最も注意すべき災害の一つにハリケーンがあります。ハリケーン・シーズンは毎年6月から11月までの6か月間とされており、毎年この時期にハリケーン情報の収集方法のチェック、ハリケーン時の対応マニュアルの確認、ハリケーン対策グッズの準備などを行ってください。

[アメリカ国立気象局](#)の発表によれば、2020年は北大西洋で発生したトロピカル・ストーム以上の熱帯低気圧(アルファベット順に名前がつけられます)は、合計30個で、過去最高の歴史的なハリケーン・シーズンとなりました。このうち、米国本土に上陸したものは10個で、こちらも記録更新となりました。このうち、「トロピカル・ストーム(風速39マイル～73マイル)」が17個、それより強い「ハリケーン(風速74マイル以上)」は7個、非常に強い「メジャー・ハリケーン(風速111マイル以上)」は6個でした。

コロラド州立大学の2021年4月の発表によると、2021年のトロピカル・ストーム(風速39マイル以上)以上の熱帯低気圧の発生数は、例年(1981年～2010年)の平均をやや上回る17個(平均12.1)と予測されています。そのうち8個(平均6.4)がハリケーン(風速74マイル以上)になり、更に4個(平均2.7)がメジャー・ハリケーン(風速111マイル以上)にまで成長するとの予想です。また、メジャー・ハリケーンが米国に上陸する可能性も69%と予想されています。なお、この情報は4月時点での予測ですので、今後変化する可能性があることをご承知おきください。

記録的豪雨でヒューストンを始めテキサス沿岸部に甚大な洪水被害をもたらした2017年8月のハリケーン・ハービー(カテゴリー4)から、もうすぐ4年になります。死者は107人、約3万人が避難し、住宅被害は4万8700棟、ヒューストン市の約3分の1が浸水したとも言われています。昨年8月にルイジアナ州に上陸して強風・高潮・停電の大被害をもたらしたハリケーン・ローラ(カテゴリー4)がヒューストンに近づく可能性もありました。また、昨年9月に上陸したトロピカル・ストーム・ベータは、予想外の大雨となり、ヒューストン各地で深刻な道路の冠水被害が発生しました。なお、テキサス州沿岸部へのハリケーン到来は8月から9月が最も多いとされていますが、気候により5月や12月にも発生したこともあります。

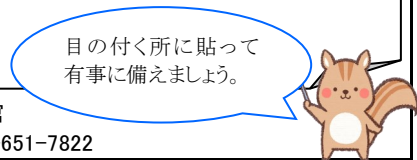
ハリケーン対策については日頃からの準備がとて重要で、万が一に備え、日頃から情報収集を行い、避難ルートや防災用品を確認しておきましょう。ハリケーンが近づき、注意報や警報が出たら、当局の指示に従うほか、正確な情報の収集、物資の確保(最低1週間分)、避難に備えて車のガソリンを満タンにするなどの対策を講じてください。

[総領事館のウェブサイト](#)では、ハリケーン対策マニュアルや情報収集のための関係機関へのリンクなどを掲載しておりますので、一度ご確認ください。そのほか、災害への準備については、[ヒューストン市緊急対策室のウェブサイト](#)も参考になります。皆さんの職場などにおいても、ハリケーン対応マニュアルや安否確認のためのリストの再点検をお願いします。

ハリケーン対策グッズ・リスト

※◎は必需品、○は可能であれば準備をお勧めするもの、△はあると便利なもの

項目	留意点等	項目	留意点等
<input type="checkbox"/> ◎飲水	通常一人当たり1日1ガロン14日分を準備。	<input type="checkbox"/> ○現金	カード・ATMが使えない場合あり。できるだけ小額の現金を準備。
<input type="checkbox"/> ◎衛生用水	トイレ、シャワー用。バスタブ等を利用して貯水。	<input type="checkbox"/> ○衛生用品	【例】トイレトーパー、ウエットティッシュ、石鹸、消毒用アルコール、洗剤、生理用品、洗面用品(歯ブラシ、シャンプー、洗顔用品等)、マスク、ふた付きバケツ、ごみ袋、ビニール袋等
<input type="checkbox"/> ◎食料	保存可能な食料を人数分×14日分以上準備。 【例】パン、各種缶詰(肉、野菜、フルーツ等)、スープ類、ドライフルーツ、ナッツ類、ゼリー、飲物、高カロリー食品、冷蔵を要さない野菜、調味料等、火が不要な保存食	<input type="checkbox"/> ○緊急時の持出キット	食料、飲み物、衛生用品に加えて現金、パスポート等貴重品類等を入れたバック(防水性が望ましい)、救助、急遽退去命令が出された際に携行。
<input type="checkbox"/> ◎懐中電灯	一人1つ準備が望ましい。予備電池を準備。	<input type="checkbox"/> △コンパス	避難時に使用。
<input type="checkbox"/> ◎ポリ袋	大きいものなら雨除けにも使えるし、水に濡らしたくないものを入れておける。	<input type="checkbox"/> △ドライアイス	保存が効き、冷蔵に使用可能。
<input type="checkbox"/> ◎携帯ラジオ等	携帯テレビも有用。予備電池を準備。	<input type="checkbox"/> △チューブテント	家が倒壊した場合、避難先等で利用可能。
<input type="checkbox"/> ◎救急医療品	【例】各種サイズの絆創膏、安全ピン、ゴム手袋、ガーゼ、三角巾、包帯、はさみ、ピンセット、針、ウエットティッシュ、消毒剤、体温計等	<input type="checkbox"/> △処方箋	必要であれば、避難前に薬局等で処方箋を書いてもらう。
<input type="checkbox"/> ◎ガソリン	車のガソリンは常時3分の2以上入れておく。	<input type="checkbox"/> △消火器	小型のものが望ましい。
<input type="checkbox"/> ◎携帯電話等	携帯電話、ポータブル式充電器(乾電池式)、ソーラー式充電器	その他 (各ご家庭の事情に応じて)	赤ちゃん用の乳幼児用食品(ミルク等)、おむつ、赤ちゃん用の薬 ペット用の水、食料、ケージ等。
<input type="checkbox"/> ◎重要文書一式	重要文書は直ぐに持ち出せるように準備。 【例】旅券、保険証書、出生・結婚証明書等。	【緊急連絡先】 ご家族の緊急連絡先をご記入ください。	
<input type="checkbox"/> ○食器類等	箸、紙皿、紙コップ、プラスチック容器等。		
<input type="checkbox"/> ○調理器具	携帯ガスコンロと燃料、缶切り、ナイフ等。		
<input type="checkbox"/> ○寝具等	寝袋、エアマット、毛布、タオル等。		
<input type="checkbox"/> ○常備薬	使い慣れた薬(頭痛薬、風邪薬等)		
<input type="checkbox"/> ○マッチ・ロウソク	防水用の缶等で保管すること。		
<input type="checkbox"/> ○各種手袋	軍手、厚手のゴム手、使い捨てゴム手(手が洗えないとき食べ物を扱う)		
<input type="checkbox"/> ○工具	【例】ペンチ、テープ、アルミホイール、ソーイングセット、スパナ、ペン、紙等		
<input type="checkbox"/> ○衣類	着替え以外にも、予備の靴、長靴、雨具等も準備しておくことよ。		



●在ヒューストン日本国総領事館
TEL: 713-652-2977 FAX: 713-651-7822

テキサスでの自然災害というと真っ先に挙げられるのはやはりハリケーンです。6月から11月までがそのシーズンとなりますが、ハリケーンまで発達せずとも局地的な大雨等での家屋浸水、道路冠水、これらに伴う停電や断水被害も起こり得るため注意が必要です。過去の体験談を踏まえた役立つ準備、対策・対応情報についてまとめましたので参考にしてください。

対策としては記憶にも新しい2月の大寒波時の対応が参考になります。但し、広範囲ながら停電・断水といった被害にとどまった寒波時と異なり、ハリケーンの場合には局地的ながら洪水等水害や2007年のアイクの際の風害等もあり、時には生命の危険にさらされる甚大な被害に繋がる点がある点が大きく異なります。事前の準備に加え、情報へのアクセスとその情報共有を通じた助け合いが重要となってきます。

体験からのアドバイス

【給油】

ガソリンスタンドは長蛇の列。大型スーパー等会員制は比較的空いている可能性あり。発電機をお持ちの方はその燃料もお忘れなく。

【水・食料の確保】

売り切れ、閉店等あり。教会など避難所となっている場所での配給あり。長期停電(アイクの際は停電が数週間続いたケースも)となる可能性あり。要冷凍冷蔵食品の取扱注意。

【避難準備・経路】

オフィスから帰宅する経路の裏道確認。避難命令が出た際に、どの経路でどこへ行くのかも事前に確認(避難時、目的地の安全確認も必要)。冠水箇所多数あり。水深不明な場所への立ち入り回避。時には車を諦める勇気。

【デマ情報】

堤防決壊等のデマ情報流布により留守宅への空き巣狙いあり。情報の真偽要確認。

【風害(2008年アイク)】

建物のガラスの飛散や樹木などが根こそぎ飛ばされてしまう等の被害。高い建物には近づかない、外出を避けるなど必要。

【車の置き場所】

なるべく高台へ。アパート等出入り口が浸水し長期間出庫できないケースあり。複数台持ちであれば一台はオフィス駐車場を利用等も一考。

2017年ハリケーン・ハービー体験記

■ハリケーン前の準備状況

大きなハリケーンが来るとニュースで発表されてから、店で水が売られていると1-2ケースずつ買うようにしました。ハリケーンが来る前日にCostcoへ買い物に行くと、オープン前から駐車場はいっぱい、水を求める長蛇の列ができていました。事前にも買っておいでよかったです。昼過ぎには、近所のスーパーやドラッグストア、ホームセンターまでも水が売り切れていました。



ライフラインが止まっても食事が作れるように、カセットコンロとガス、お米、缶詰スープやカップラーメン、レトルトカレー、フリーズドライスープ、スパム、パン、お菓子など1-2週間分の食料を揃えておきました。また、停電しても冷蔵庫の中身が腐らないように沢山の氷を凍らせておきました。

その他、家族分の懐中電灯とヘッドライト、電池(単1-単4)を多めに用意しました。車のガソリンは満タンにして、タイヤの空気を少し高めに入れておきました。また、いつでも避難できるように、2-3日分の着替え、パスポート、日本のお金をボストンバッグに用意しました。

■避難の状況など差支えない範囲で教えてください。

我が家は避難しませんが、ご近所の方と外に集まり、「避難する決断をいつするか」について随時話し合っていました。

■そのほか体験談や、アドバイスなどご自由にお書きください。

日本人同士のグループLineや Next door 等で情報交換ができたことは、とても助けになりました。災害時は携帯電話が情報を得るためのとても大切な Life line になるので、車のエンジンから充電できる充電器を持っていると良いと思います。

雨が上がり外の状況を見回っている時、二人組の男の人が行政を装い、「ダムが決壊して、あと1時間後にここへ4ftの水が来るから逃げた方がいい」とデマを流していました。幸い、Next door を使っている近所の方から、「泥棒が浸水するデマを流している」という情報が入ったので事なきを得ました。その後1時間経っても4ftの水は来ませんでした。

(Katy地区在住)

ワンポイントアドバイス

■ 居住区・避難経路の事前安全確認

例:[Flood Factor](#) : Zip Code を入れると近辺の洪水リスクについて表示され、詳しい地図で確認が可能

■ 過去のハリケーンの参考資料確認

[ハリケーン・アイク](#) (2008年) ダウンタウン地区の風害大

[ハリケーン・ハービー](#) (2017年) Bayou地区の水害大



大切なハリケーン用語

- ◆ Tropical Depression (熱帯低気圧) → Tropical Storm (熱帯暴風雨) → Hurricane (ハリケーン) の順に最大風速が強くなる。
- ◆ Flash Flood Watch (洪水注意報)、さらに深刻な状況では、Flash Flood Warning (洪水警報) が出る。
- ◆ Voluntary Evacuation (自主避難)、さらに深刻な状況では、Mandatory Evacuation (強制避難) が発令される。

お役立ちアプリ



近隣情報: [Nextdoor](#)

アラート: [AlertHouston](#) (ヒューストン市) [ReadyHarris](#) (ハリス郡)

交通状況: [WAZE](#)、[HoustonTransStar](#)

TV&新聞: 地元TVチャンネル ([KHOU11](#)、[CLICK2HOUSTON](#) や [ABC13](#))

新聞社: [Houston Chronicle](#) のアプリ

天気予報: [Houston Chronicle](#) (国立気象局)、[AccuWeather](#)、[National Hurricane Center\(NHC\)](#)

地元ラジオ: [KUHF 88.7FM](#)、[KTRH 740 AM](#)

洪水情報: [Harris County Flood Warning System](#)

※詳細については[商工会HP](#)